

令和6年度 第1回豊田市地域保健審議会

開催日時：令和6年7月30日（火）午後2時～3時30分

場所：豊田市役所 東庁舎6階 教育委員会会議室

出席者（敬称略）：加藤真二（会長）、田代和久（副会長）、安藤広重、岩月幸雄、
酒井恵子、中出美代、前田定利、吉田哲也

（欠席者）：大橋一之、重松良祐、谷友一郎、長谷川喜代美

（市側出席者）古澤保健部長、竹内保健所長、佐野保健部副部長、伊地知健康政策課長、野嶋健康づくり応援課長、都築保健衛生課長、河合感染症予防課長、川合保健支援課長、安藤こども家庭課主幹

傍聴者：1名

●古澤保健部長
豊田市挨拶

●竹内保健所長
豊田市挨拶

○加藤会長
審議会会長挨拶

議事

【協議事項】

（1）今年度の重点取組について

●伊地知健康政策課長

重点取組項目の項目番号2「市民の健康づくりを支える体制強化」、項目番号3「大規模災害や健康危機への対応」について説明

●野嶋健康づくり応援課長

重点取組項目の項目番号1「まちぐるみで取り組む心とからだの健康づくりの推進」について説明

●河合感染症予防課長

重点取組項目の項目番号3「大規模災害や健康危機への対応」(2)②、項目番号4「感染症対策及び予防接種の推進」、項目番号6「日常における食品衛生及び環境衛生の安全・安心の確保」(4)について説明

●川合保健支援課長

重点取組項目の項目番号5「精神障がい者や難病患者等の自立支援体制の推進」について説明

●都築保健衛生課長

重点取組項目の項目番号6「日常における食品衛生及び環境衛生の安全・安心の確保」(1)～(3)、項目番号7「人と動物の共生社会の推進」について説明

●安藤こども家庭課主幹

重点取組項目の項目番号8「子育て家庭への伴走型支援の充実」について説明

○中出委員

項目番号3の熱中症予防啓発について、冒頭のお話にもあるように警戒アラートが毎日出ていますが、地域に対する対策があれば教えてください。

●伊地知健康政策課長

普及啓発が重要と思っております。市としては、熱中症にならないために予防の啓発を行っており、熱中症警戒アラートが出た際には、豊田市のホームページへの掲載、各種メールや市公式 LINE 等、あらゆる手法を使ってアラートを周知しています。

○中出委員

高齢者への関わりの経験から、家の中で厚着をしており熱中症になる方もいらっしゃると思います。外にいる人ばかりが熱中症になるわけではないため、メール等が届かない方にも何かしら周知ができるような対策をお願いしたいと思います。

●伊地知健康政策課長

引き続き防災ラジオ等も活用しながら、見聞きができるような媒体を使って普及啓発を行っていかうと思っております。また、環境部や消防等とも連携しながら実施していきたいと思ひます。

○岩月委員

市民の健康づくりに関して、ボランティアとしてお手伝いをする中で、高齢者と接する機会を多く持たせていただいております。項目番号1に、健康づくりに取り組む民間事業者等への支援とありますが、民間事業者の中でも先進的に健康経営という考え方で社員の健康を積極的に支援している事例がいくつかあります。健康アドバイザーの派遣というのはどのような方がどのような内容を支援する事業なのかお聞かせください。

●野嶋健康づくり応援課長

健康アドバイザーで派遣する専門職は、糖尿病認定看護師、理学療法士、管理栄養士、公認心理師です。50代くらいから糖尿病予備軍が増えるため、糖尿病認定看護師、作業環境や姿勢による腰痛や肩こりに対する指導を作業療法士、栄養指導を管理栄養士、メンタル面の対応を公認心理師に対応していただきます。地区の拠点の保健師が企業に情報を提供し、関係する専門職と一緒に訪問し、企業側が取り組んでいきたい健康課題を共有し、要望に応じて専門職を派遣して講座を開催していきます。初めての取組となりますので、まずは中小企業から進めていきます。

○岩月委員

産業部では、過労の問題や、楽しく働くための取組として、働き方改革に取り組んでいる企業の優良事例を紹介しているものがあります。健康経営の取組の中で珍しいものでいうと、運送会社が午後の安全率を高めるため、休憩時間中に酸素室で休養する等色々な事例がありますので、先進事例等も調査して紹介していくような取組をしていただけたらいいかと思ひます。特に、現役世代の方たちの健康づくりに繋がるようなところは私達には手が届かないところですので、企業の中で取り組んでいただけると良いという思ひがあります。

●野嶋健康づくり応援課長

手探りで進めていくものですので、参考にさせていただきながら進めていきたいと思ひます。

○吉田委員

項目番号1の「まちぐるみで取り組む心とからだの健康づくりの推進」というところで非常によいと思いますが、高校生で問題となっているオーバードーズの項目がどこにも出ておらず、薬の適正使用についても必要ですし、そのあたりについての項目があると良いと思います。もう1点、項目番号5に自殺対策としてゲートキーパーがあり、自殺対策が精神障がい者の項目に入っていますが、オーバードーズも自殺に繋がりにくい部分もあるためそのあたりも加味しながら取組をお願いしたいと思います。また項目番号1に禁煙治療薬助成事業がありますが、禁煙外来にチャンピックスがなく、禁煙に関しては薬局の方でニコチンガムやパッチを活用しながらと思いますが、市としての考えをお聞きしたいと思います。

●伊地知健康政策課長

オーバードーズは項目番号3の健康危機のところに入ってきます。実際にオーバードーズという言葉は出てはきませんが、医事薬事や医療安全支援センターの部類に入ってくるのではないかとということで、毎年薬物乱用防止について街頭活動や、学校に出向き知識の普及をしながら薬物乱用に関する一般的な啓発を進めていきたいと考えております。オーバードーズの先に自殺に繋がるということがありますが、自殺対策計画を含めて健康づくり計画を策定させていただきました。こころの健康づくりを進めることで自殺対策に繋がっていくと思いますので、先ほどのオーバードーズのところや薬物乱用を含めて健康づくりに取り組んでいきたいと考えております。禁煙外来についてはご意見のとおり薬がないのは実情でありまして、助成は継続しておりますが、今後のありようは検討していきたいと思います。

○前田委員

今のオーバードーズの話でお聞きしたいことがありますが、エナジードリンクの依存摂取も問題になっていると思います。知り合いの方から、中学生の方がエナジードリンク摂取を勧められて困っているという事例をお聞きしました。色々な背景があるかと思いますが、所轄の警察の生活安全課等との連携も取りながら進めていかないといけないと思います。薬物乱用防止教室など進めていますが、低年齢化により小学生からきちんと行っていかなければいけないというところで、相談窓口があると色々な方が相談できるのではないかと思います。そのあたりも御一考いただけるとよいかと思います。

●伊地知健康政策課長

エナジードリンクの問題は話聞いております。薬物乱用につきましては、乱用防止のキャンペーン等を行っていますが、エナジードリンクについては着手していませんでした。薬物乱用防止につきましては愛知県、愛知県警察と連携して進めさせていただいております。薬物乱用については、覚せい剤より大麻の方が多く、若い人の件数が多くなっており、低年齢化が進んでいます。こういった状況も踏まえ、前田委員からもご意見をいただきましたエナジードリンクを過剰に摂取してしまうということも承知しておりますので、そのようなことも含めて薬物乱用防止に取り組んでいきたいと考えております。

○岩月委員

市民の立場でお聞きしたかったのですが、項目番号5にマイナンバーカード保険証があります。マイナンバーは持っているが保険証と連携していないというのが私の状況ですが、医療機関に行くと現在の保険証をそのまま使えるといった張り紙がしてあり、現状どうなっているのかお聞きしたいです。

●川合保健支援課長

マイナンバーカードは今年の12月2日から保険証として使えるという通知が出ております。その後約1年間は既存の保険証が使えると聞いていますが、その後について詳細は届いておりません。

○岩月委員

私は連携をしていませんが、先日見たニュースでは連携をしている人が一桁台だったと言われていて、本当に切り替えるつもりなのかと思っています。市が決めることではないかもしれませんが、現状どの程度になっているのか分かりましたら教えていただけたらと思います。

○吉田委員

マイナンバーカードを保険証と紐づけることで、データがデジタル化され、薬剤や治療履歴等の閲覧を本人が許可すると、マイナンバーカードを提示することで医療機関、薬局で確認することができます。そうすると先々はリアルタイムで併用薬を見ることができるので、お薬手帳を持っていく必要がなくなり、それ1枚で薬の管理や治療履歴、今の患者の状態と全てを見てわかるようになります。理想の形になる過程の状況ですので、できる限り紐づけていた

だくと非常に助かると思っています。ただ中々標準化というものが必要なため難しくもありますがそのような状況です。

○加藤会長

今年の12月で保険証の発券が終了します。保険証の有効期限は1年なので、来年の12月時点までにマイナンバーカードを紐づけておかないと医療が受けられないということが起きそうな状況です。保険証が一切使えなくなってしまったところでマイナンバーカードと繋がっていない人達は困るのではと危惧しています。生活保護の方はマイナンバーカードがない人もいますので、そうすると大変なことになるという心配はあります。できたら国をあげて統一して紐づけていかないと医療機関も大変になる気がしています。

○安藤委員

生活保護の方のマイナンバーカードの話が出ていましたが、要介護4の方や重度の精神障がいの方等も現実持っていない方が多く、身寄りのない方になってくると、ますます持っていない方が多いです。福祉のボランティアさんが今後どうなるのかと言ってみえたので、市民部のお仕事かもしれませんが正しい情報を出していただけるとありがたいです。

【報告事項】

(1) 健康づくり豊田21計画（第四次）の推進体制について
意見なし

(2) ICTを活用した業務改善について

○加藤会長

従来の手法は残っていて、併用するということによろしいでしょうか。

●都築保健衛生課長

その通りです。

○吉田委員

先日 Windows のマイクロソフトのセキュリティエラーで通信できない状況が発生しましたが、そういった対策はしていますか。

●都築保健衛生課長

あいち電子申請システムは愛知県のシステムで、インターネットと切り離れた閉域のネットワークシステムのため影響がでにくいと思われま

○加藤会長

LGWAN 回線がインターネットを介さず、どのように通信できるのか分からないので機会がありましたら説明をお願いします。

(3) 豊田市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について
意見なし

○加藤会長

その他全体として何かご意見がありましたらお願いします。

○前田委員

本日連合愛知の委員が欠席とのことで、先ほどの健康づくりアドバイザーの派遣等、企業の話がありましたが、連合愛知は企業との繋がりがあるため、どのようなことを事例として取り組んでいるのかなどもフィードバックされるとすごくいい資料ができるのではないかと思います。本日はお越しではないですがそういったことをお聞きになるとよいと思いました。

○酒井委員

市民の健康や命を守るということを組織ぐるみで取り組んでいるのは素晴らしいことだと感じました。個人ではスマートウォッチで歩数や睡眠時間などの健康管理を始めています。豊田市として、部分的ではなく全面的にもっと改革していただけると、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年代の中で生きがいを感じていけるのかなと思います。

○加藤会長

先ほど企業等に話を持っていくという話を伺いましたが、どのような人

RS ウイルスは高齢者が罹ると命取りになることもありますし、COPD の方で肺気腫が元々あるような方が罹ると呼吸不全になりやすいので、そのあたりも考えていただけるとありがたいと思いながら聞いておりました。いずれにしても多岐に渡って市民への健康に対して尽力していただいていることが分かりましたので、どんどん進めていただいて、またこの会で報告いただけるとありがたいと思います。

○加藤会長

その他よろしいでしょうか。では、ご意見が出尽くしましたので、議事についてはこれにて終了したいと思います。

— 以上 —